

お茶の時間



政府は都合の悪いことが起きると、国民の気をそらすように、別の話題で大騒ぎする。

裏金事件で「ごちゃごちゃ。政治の信頼は地に落ちた?!」
信頼など、昔からあったのだろうか。

真面目に納税している国民は、やっくらしませんよ。

拉致問題、何十年立っていますが、議員の衿の青いバッジが白々しい。
原発事故処理も「時ばかり過ぎ」ている。

被災した人々の、目もみえていますか。ホトにイライラしていますよ。

心に響く言葉

春の夜に
投げ入れたら
わが手紙

ホストの底に

楽しく眠れ

影が長

投函した手紙への想い、
わかるなあ



凧あがり

天まで上がり〜!

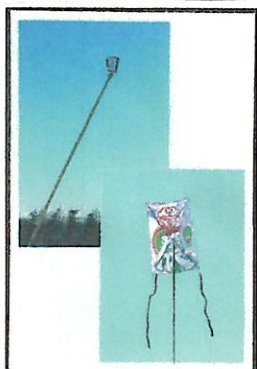
毎年、白根(新潟市南区)在住の凧名人、遠藤裕巳さんから手作り凧も頂く。実際に上げた写真も添えられて。その心遣いに只々感謝感激する。診療所待合室に飾ってある。

白根には「しろね大凧と歴史の館」があり、凧あげ体験も出来るので、ぜひお出かけ下さい。

6月に開催される大凧合戦は、参加する組が作った24畳の凧を、川を挟んで数十名の勇士たちが走って上げる時の、両岸から響く足音のすさまじさは、現場でこそ伝わってくる。

24畳の大凧が空を舞うこと、そのものにもビックリする。世界の様々な国でこの大凧を上げ、感動されるそうだ。遠藤さんは、平和大使。新潟市には、こんな素晴らしい祭りがある。長い海岸線で、皆で凧揚げの日、かあっても良いね。

色々なこと、広い視野で考えられたら楽しそう...



グングンと高くまで上がり、今年も上々。



子田歯科医院のロゴ入りよ。

歯のよもやま話 第五十九話

歯で作った飾り物、小物

歯は、材質として堅牢なため古来よりいろいろな装飾品、置物、小物の材料として使用されてきました。

藤田恒太郎

先生の書かれた『歯の話』

にも、ネックレスや足飾り

や、また特に興味があるのは、チエコス

ロバキアで出土した旧石器

時代のマンモスの牙で作ったビーナスの

例が紹介されています。大

変昔からいろいろの小物の

材料として使

用されていたことがわかります。

私がカナダに学会で出かけた時に、バンクーバーのお土産物屋さんで、手に入れたシロクマ?の置物は、歯を材料にしたもので

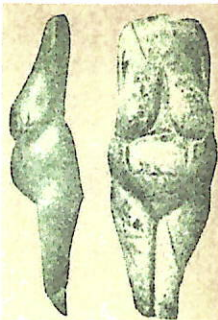
あること、は確実ですが、大きさや形、イヌイット

トのお土産品であろう等から考えて、セイウチの

歯を材料にしたものでしょう。もしかして



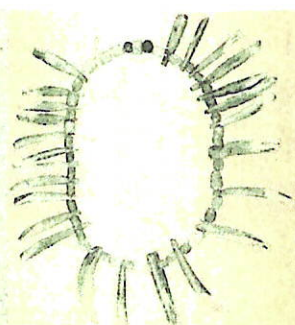
シロクマの置物



旧石器時代のビーナスマンモスの牙



犬の犬歯で作った足飾り



野ブタの歯の首飾り

たらシヤチあたりかな?

何と言つても、歯を材料にしたものでよく目にするものは、象牙です。大きなものでは床の間や洋室の飾りとして作られた象牙そのものを磨き、その中央部に七福神や鯉を彫刻した置物などがあります。また、そのほか大小様々の置物、装身具、根付、印籠、パイプ、茶道具、風

規、櫛、箸、耳かき、靴べら、数珠、ヘラ、ボタンなどの小物も思いつきます。また楽器ではピアノの鍵盤、琴柱、琴の爪、三味線のバチなどにも使われています。さらに細かいものでは象眼として、いろいろなものに埋め込んで飾りや目盛として使われています。また実用品として現在広く使われているのは、印鑑です。象牙はアフリカなどでの密猟により象の絶滅が危惧される様になり、ワシントン条約により1989年から国際取引が規制され輸入禁止になりました。そのため、現在では「絶滅のおそれのある野生動物種の保存に関する法律」で取引が制限され、特定業者しか取り扱うことができません。しかし日本国内では、同法に基づいて象牙製品の製造や販売を行うことは、問題ないとされています。しかし絶対量が少なくなつたため、今までのように何にでも使えるという状況ではなくなっています。



象牙の置物 布袋



象牙の印鑑

子田晃一

天災は忘れたころにやってくる

元旦、東京国立競技場で日本代表対タイとのサッカーを、家族11名で観戦。勝ったあ！勝ったあ！と総立ちになっていた午後4時過ぎ、7元とめまいが。地震？すぐ携帯チェックすると能登半島で震度7、150km程離れた新潟県も大きな揺れ。私たちが住む新潟市西区が液状化現象が起き大変なことになっていると、ニュースで知り驚いた。翌日、ようやく動いた新幹線で帰宅。診療所は特に被害みられず。隣接の自宅は、書棚に入りきれず積んであった本が散乱。倉庫棚から落ちたガラスが割れたが、台所棚扉は自動ロックされて中の物は無事だった。

新しい年の診療が始まり、被害状況をも多くの患者さんたちから知らされた。海辺近郊の人たちは車で高台に移動。途中道路は渋滞し、避難場所では自販機前は長蛇の列。またく間に完売だったようだ。寒さも辛かったとも聞いた。いつも利用しているスーパーマーケットの2階は、天井がはがれ落ちていた有様が、封鎖中のエスカレーター下の様子を見た。

元旦当日、そこに居合わせた患者さんは「まるで映画の世界のようだった」と恐怖を語った。液状化で、半壊。家前の道路はマンホールが盛り上がり、あちこち陥没。とりあえず写真を撮り、簡易修繕を住民で協力して行い、生活しているという方も。

スマホから警報がすさまじい音で響いた1月9日。数秒で激しい揺れ。ひさびさに身をかめず難しさを知る。瞬間、かたまってしまったのだ。

日毎に伝わる西区の惨状。私の住居周辺は小さな被害で済んだが、ひとり住まいのスタッフたちには、もしも、の事を考えて近郊のスタッフ同士、連絡も心かけること。携帯すべきものも考え、備えておかなければ、ぬ、と話し合った。冬か、夏か。季節で対応が大きく変わる。自宅が外出中か、ひとりか複数人か。時を選ばず災害は起こる。当り前の日常がひっくりかえるのだ。他人事、ではない。忘れた頃に... 2か月が過ぎた



2024年1月1日 東京国立競技場で。



満員。開始前会場見物



軽い冊子が散らばって。



床は、ガラスがこぼれに。転がって寄りかかると滑りだすガラスが。



新潟アピタ店内1F



アピタ店1階の天井も落下

「3月のある日、新聞を読んでいたときのことです。はじまりの文章は、小学生になる、孫の男の子が選んだランドセルの色を心配する祖母の投稿隣のページには、カラフルなランドセルが並んでいる。孫が選んだ濃濃のピンク色に戸惑う祖母。祖母の娘である母親は、色での男女区別は無い本人の意思を尊重したい」と。

以前、アフリカの子どもたちに使わなくなったランドセルを贈った時、それ以外が気に入った色のランドセルを贈らそうと背負う少女をニュースで見た時、何とも楽しそう、ほのぼのとした気分になれたことを思い出して、祖母が育った時代と娘が育った時代、そして現代。あんなに考えた一冊になった。あなたなら？



月刊たぐさんのふしぎ
才468号
「かっこいいピンクをさがしに」
文・絵 なかむら みるみ
発行 福音館書店
定価 770円

NHK TVで時々放送の「クイズ丸をつけるだけ」で、ひらめきクイズを楽しんでいる。解き方の方法も、わかてきたので、正解率は高いが、それでもヒントを聞くと「そうかあ」と納得したり、「そんなの、あり」と文句を言ったりして、いくつになっても知るは楽しいと、本を購入したくさんの中から選んだ一冊が、これ。巻末の著者のインタビューコーナーも、ふむふむ、ほお、と読んで。

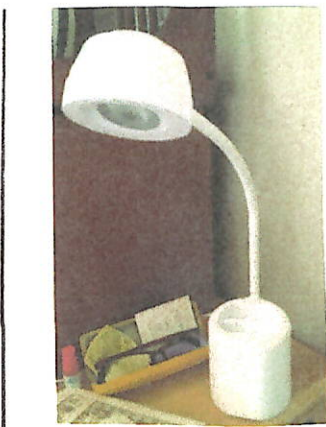


著者 松丸 亮吾
NHK「あさイチ」制作班
発行所 NHK出版
定価 1000円+税

いいなこの本

新潟日報夕刊が廃刊に近づいて一週向、ポストにその姿がなくなっている。何やら物足りないう。朝刊、日報読者文芸欄を楽しんでいる。川柳は、とても気分転換になり、大々天いする。2月12日(月) 振替休日の日に掲載された「気が合うね イイエ合わせているのです」 中央区 花井 はなこ

こんな方がおられる。何歳位かしら？ 勝手に掲載してごめんね。この気持、わかるかしら。と、笑みかけて頂戴しました。ありがとうございます。



DENTOS LEDデスクライト
ネット検索したら販売終了。今は、もっと良いものが。いいものと出会えてラッキー。

ベッドサイドに置くライトが明る過ぎて、深夜の読書も連れ合いに遠慮がちだった。この卓上スタンドライトはとて使い勝手が良い。近くのホームセンターで購入。同様のものが半値バーゲン中。少し迷ったが「目に優しい、目の疲れを防ぐ」の宣伝文句にひきつけられ、倍の価格のものを選んだ。正解だった。軽いタッチで3段階調光。深夜は弱い光でも読書に支障なし。十分満足、気遣いがなくなった。連れ合いは、寝室ではもっぱらiPad愛用だ。光の拡散が無い。深夜も全く気にしないで、検索、ユーチューブ、スクリーンは古本の読書等と色々楽しんでいる様子。